



10/2 菩提山城跡を巡る



秋晴れの心地よい気候のもと、岩手地区で、菩提山城跡ウォーキング大会が開催されました。参加者約70人は家族や友人とともに竹中半兵衛重治公の居城であった山頂を目指しました。山頂ではかつて城のあった跡として残る「曲輪」などを見学し、町内各地やその奥に広がる濃尾平野を眺め、景色を楽しむ様子が見られました。

9/25 芸術の秋！
町芸術文化祭を開催



町芸術文化協会主催により、所属21団体による伝統芸能や和楽器の演奏などが4日間にわたり、町文化会館で披露されました。出演者は日頃の練習の成果を発揮し、会場では、迫力ある演奏など響き渡りました。訪れた観客は舞台に魅了され時間を忘れて見入っていました。

10/8 全国から痛車 集結!!



自慢の痛車、痛バイクで競い合う、第六回天下無双東西最強痛車決戦が朝倉運動公園で開催されました。今年で6回目を迎える当イベントは、全国各地から痛車や痛バイクなど150台が集結しました。それぞれこだわってコーディネートした痛車が会場を埋め尽くす様子は圧巻で、アニメのキャラクターをイメージしたコスプレイヤーや痛車ファンで大いに賑わいました。

10/6 さつまいも掘りに挑戦



府中こども園の園児69人がさつまいも掘りに挑戦しました。園児たちは、ツルの伸びる方向に向かって懸命に穴を掘り進め、ようやくさつまいもを掘り起こすと、「こんなに大きいおいもがとれたよ！」と満面の笑みを見せてくれました。また、お互いにとれたさつまいもを自慢しあうなど、楽しいひとときを過ごし、自然の力と収穫できた喜びを体験しました。

10/9 秋の夜空を彩る



大石地内で「大石花火」が打ち上げられました。この花火は大石区のお祭りにあわせて打ち上げられる花火です。午後7時頃から約1時間、夜空を色とりどりに照らしました。

当日はあいにくの雨でしたが、周辺では、花火を眺める人たちの姿もあり、秋の風物詩として打ち上げられる花火を楽しみました。

10/9

歴史講演会「関ヶ原と垂井」を開催



令和3年度に制作した垂井町PRアニメーションの完成を記念した講演会を開催しました。

講師に2023年の大河ドラマ「どうする？家康」で時代考証を担当する歴史学者・作家の平山優さんと福井県立一乗谷朝倉市遺跡資料館の学芸員 石川美咲さんをお招きしました。関ヶ原合戦で勝利した徳川家康や、垂井で活躍した竹中半兵衛に関する講演をしていただき、参加者約300人は、普段は聞けない関ヶ原合戦にまつわる講演に真剣に耳を傾けていました。



小さな行動が 未来につながる ～今すぐできる 私のSDGs～



トートバッグは、50個制作。すべてデザインが違うのも魅力！

コメントをいただきました /

フェアトレードをもっと多くの人に知ってもらいたい。また、垂井町が魅力ある町であることを広く伝えたい。フェアトレードのこと、それに取り組む垂井町の良さも知ることができた。自分たちが発信できることが嬉しい。トートバッグの制作をとおして、適正価格で商品を取引する国際貢献の一環となる活動が出来て嬉しい。

“あなたが実践する、簡単なSDGsを教えてください。”

問 企画調整課 地域振興係 ☎22-1152

今月の取り組みさん

岐阜市立女子短期大学2年生のみなさん

3人の学生さんが、「フェアトレードを学びたい」「地域の人たちとの関わりをもちたい」との思いから、町内の社会福祉施設「けやきの家」、町内在住デザイナー、フェアトレードタウン垂井推進委員会と協働し、トートバッグを制作しました。

バッグは、相川のこいのぼりや椿の花、表佐太鼓などが細かく刺し縫いされたもので、このバッグをもとに、垂井町を「フェアトレードによる世界との橋渡しのまちに」と発信していきます。

※バッグは、11月6日(日)に開催される「フェアトレードデイ垂井」で発表、販売されます。

